

2023 年度チャレンジ育英制度 (論文奨励)募集

チャレンジ育英制度論文奨励の応募を

2023 年 9 月 11 日～9 月 29 日で受け付けます。

今年度の論文テーマは、以下の 5 種類です。 ※詳細は別紙を参照

- ①『文教大学への提言』
- ②『多様性を認め合う社会を実現するために』
- ③『人生 100 年時代における学生時代の過ごし方』
- ④『生成 AI を大学教育において利用するメリットとデメリットを考察する』
- ⑤『文教大生が行う SDGs 活動の提案』

文教大学生として日頃の研究活動や勉学の成果、体験した意見・抱負を論文として表現することを奨励し、採用者には、育英金(上限 10 万円)を給付する制度です。
少しでも興味のある方は、越谷学生課または湘南・東京あだち教育支援課 HP をご確認ください!

越谷学生課 HP



湘南教育支援課 HP



東京あだち教育支援課 HP



【給付金額】

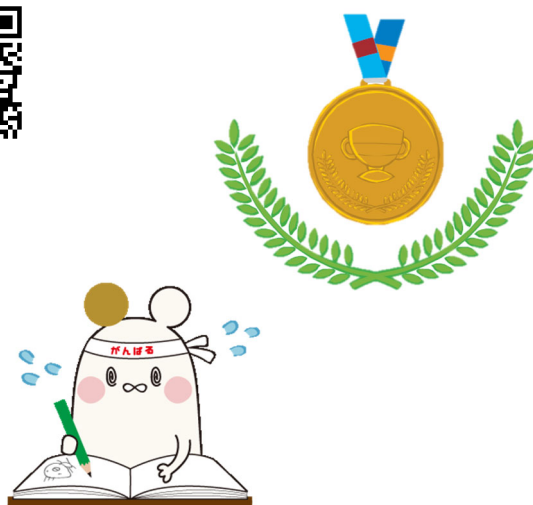
最優秀賞：10万円

優秀賞：5万円

佳作：2万円

努力賞：5千円以内

※採用数は最優秀賞～努力賞まで合わせて 10 件以内です。



2023 年 6 月 28 日
文教大学 学生委員会

2023 年度チャレンジ育英制度(論文奨励)論文テーマ

以下①～⑤のテーマから 1 つを選択し、5,000 字程度で論述してください。 ※複数に出願は不可。

①『文教大学への提言』

標記のテーマのもと、現在文教大学に存する課題について論じてください。なお、『文教大学への提言』とは別にサブテーマを設定し、論点は1つに絞ってください。

【テーマの例（課題やトピック）】

魅力ある大学・キャンパスづくり、キャンパス間の連携、カリキュラム改善、地域連携や貢献、学生のマナー向上、課外活動参加率の向上など

②『多様性を認め合う社会を実現するために』

多様性について考えるとき、性別や人種のような比較的目に見えやすいものから、価値観や性的指向のように目に見えにくいものまで様々な観点があります。現代社会を生きていくうえで「多様性の尊重」が重要であることは、徐々に浸透しつつあります。「尊重する」と言葉で言うのは簡単ですが、実際に多様性を尊重し、認め合う社会を実現するにはどのようにすればよいのでしょうか。1つまたは2つ程度の観点を取り上げ、具体的な方策を述べてください。

③『人生 100 年時代における学生時代の過ごし方』

ある海外の研究では、2007 年に日本で生まれた子供の半数が 107 歳より長く生きると推計されており、日本は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えています（厚生省ホームページより）。生涯にわたる学習が重要と言われる中、これからの大学生はどのように学び、その学びをどのように将来に活かしていくべきでしょうか。100 年の人生における学生時代はどのような時間であるかを位置づけ、そこでのあるべき姿を具体的に述べてください。

④『生成 AI を大学教育において利用するメリットとデメリットを考察する』

生成 AI とされる Chat GPT の登場は、大学での教育に大きな議論を生じさせています。大学教育において学生に特定のテーマのレポートを課題として提示する際に、学生がレポート作成のプロセスで各種の文献や HP にあたって独自で調査し、テーマにそった論理を自力で構築することがひとつの訓練となっています。生成 AI はそのプロセスを一気に代替してしまう機能があります。利用者にとって調べる手間とまとめる手間を節約できるのかもしれませんが、教育機能の面では便利な機能が却って学生の能力開発の妨げとなることが危惧されています。他方で、これまでも技術革新によって誕生した電卓、ワープロ、PC、スマホと日常的に利用できるようになった便利な物と同様に生成 AI も大学での生活に欠かせない物となる可能性が大いに期待されるところです。みなさんは、大学で新たな便利な道具を利用する当事者として、大学教育における利用のメリットとデメリットを論じてください。

⑤『文教大生が行う SDGs 活動の提案』

国連が掲げた持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、文教大学生ができる活動について提案してください。活動の内容とそれを行うために必要なこと、活動の成果、活動の期日などについて述べ、何番目の開発目標に関連するかについても記述してください。

***専門性を問うものではありませんが、必要に応じ、文献などを調べ、論文にまとめてください。**

- ・未発表作品に限ります。
- ・卒業年次生については研究論文-卒業論文と類似のものは認められません。
- ・新聞・雑誌・インターネット・書籍等から文章・考え・データ等をそのまま引用したり、あるいはそれらを自身の言葉でまとめて記述したりする場合は、必ず引用した出典を文中に明記し、文末に出典と対応とする引用文献リストを記載してください。引用したにもかかわらず出典を記載していない場合は、「盗作」とみなされます。

以上